



Time:15:00時点

※前回報:1月6日報 Vol:30

統括部 企画統括課

今週のTOPIC

米国12月消費者物価指数上昇率が前年比6.5%に鈍化、利上げペース緩和の可能性

■ [1月CP] プロパン: \$590 (前月比▲\$60)、ブタン: \$605 (前月比▲\$45) ■ [12月MB平均]: \$357 (前月比▲\$83)

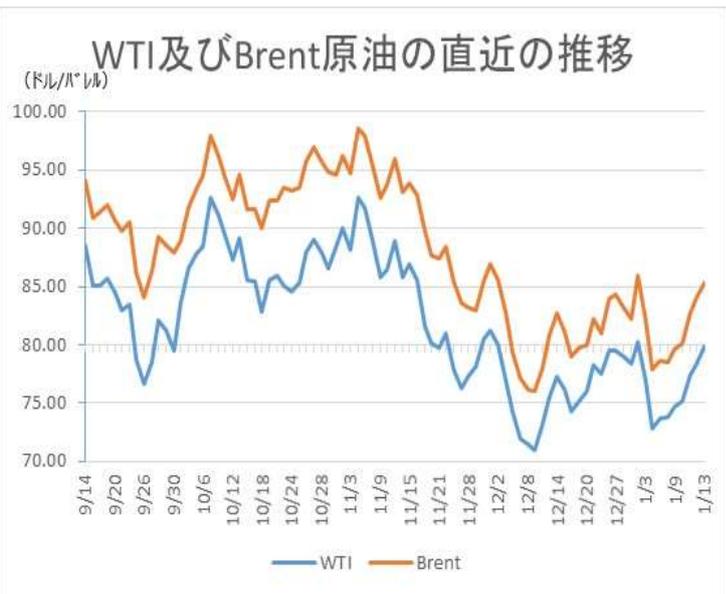
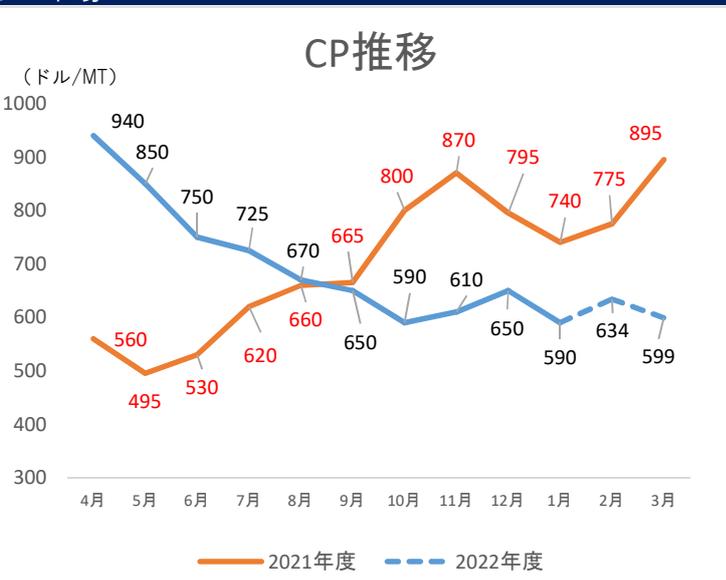
エネルギー市場

原油 先物 (USD/BBL)	今回	前回	前回比
NY/WTI (2月)	79.86	72.84	+7.02
北海Brent (3月)	85.28		

LPガス 先物 (USD/MT)	AL熱量換算比			
プロパン予想値	今回	前回比	今回	前回比
CP 2月	634	+76	94%	+7%
MB 1月	424	+39		

プロパン	3月	4月	5月	6月	7月
CP先物	599	574	555	546	544
プロパン	2月	3月	4月	5月	6月
MB見通し	441	440	437	437	437

外航フレート (USD/MT)	1/13時点	※前回	前回比	
中東-日本	82.0	85.0	▲3.0	
米国-日本 (パナマ運河経由)	126.0	128.0	▲2.0	
為替/TTS	1月予測	12月	11月	10月
USD/円	20日 132.60	138.46	146.47	146.84
	末日 131.20	136.09	143.48	148.19



LPG元売り2月改定幅予測値 (円/t)	プロパン	ブタン
ジャパンガスエナジー	改定レンジ: ▲3,800~▲4,400	▲6,000~▲6,600
ENEOSグローブ	改定レンジ: ▲4,300~▲4,900	▲6,200~▲6,800
アストモスエネルギー	改定レンジ: ▲5,100~▲5,700	▲7,000~▲7,600
ジクシス	改定レンジ: ▲4,300~▲4,900	▲6,200~▲6,800

マーケット概況

	今回	※前回	前回比		今回	※前回	前回比
NYダウ (US\$)	34,302.61	33,269.77	+1,032.84	TOPIX (円)	1,886.31	1,867.02	+19.29
S&P500 (US\$)	3,999.09	3,852.97	+146.12	金 (Gold)先物 (US\$)	1,918.65	1,856.65	+62.00
米国債券10年利回り (%)	3.498	3.713	▲0.215	VIX恐怖指数 (%)	23.82	22.01	+1.81
日経平均 (円)	25,822.32	25,812.82	+9.5				

当レポートの内容は伊藤忠エネクス(株)ホームライフ部門 統括部/企画統括課の発行日における見解を記したものであり、その正確性、完全性を保証したものではありません。また本レポートの無断掲載・転送・改変を禁じます。

## 今週のTOPIC

米国12月消費者物価指数上昇率が前年比6.5%に鈍化、利上げペース緩和の可能性

## 原油概況

★ドル安影響と中国景気回復期待によりWTIは\$70台後半に上昇

## 影響度

強気・  
上昇要因



- ① 米国利上げ緩和期待によるドル安が原油割安感につながり価格上昇
- ② 中国の2022年鋳工業生産が前年比3.6%増加し景気回復に期待
- ③ G7とEUは原油に加え2月からロシア産石油製品にも価格上限を導入

弱気・  
下降要因



- ① ロシアの1月上旬原油生産は日量1,090万バレルと12月から0.1%微増
- ② EIAは米国2023年原油生産予測を日量1,241万バレルに上方修正  
(EIA=米国エネルギー情報局)
- ③ OPEC12月産油量は日量2,900万バレルと前月比12万バレル増加

## LPガス概況

★原油高影響によりCPは\$600台へ一時的に上昇する予測

(強気)

- ① インドの12月LPG消費量は257万tと前年同月比4.0%増と増加傾向
- ② 米国プロパン在庫が需要増加により前週比1.2% (18万t) 減

(弱気)

パナマ運河滞船日数が約4日に短縮し需給改善の傾向

## 「ドル価格と原油価格の関係」

- ・ドルと原油価格には逆相関の関係があると言われ、ドル安になると原油価格は上昇しドル高になると原油価格は下落する傾向があります。
- ・原油はドル建てで取引されており、ドル安になるとドル以外の通貨で購入する原油価格は相対的に割安となります。
- ・他国通貨から見て割安となった原油は購買需要が増加し、価格の上昇につながる事となります。